

※2021年11月10日正午解禁

横山剣（クレイジーケンバンド）もお墨付き！
京都が誇る“お座敷ロックンローラー”バンヒロシが監修した
コンピレーション・アルバム第2弾

『バンヒロシ・プレゼンツ コロムビア・ロックン歌謡大全 Vol.2』
ジャケットや曲目など詳細発表！



横山剣（クレイジーケンバンド）や小西康陽からリスペクトされる、京都が誇る“お座敷ロックンローラー”バンヒロシが監修を務めたコンピレーション・アルバム『バンヒロシ・プレゼンツ コロムビア・ロックン歌謡大全 Vol.2』が12月22日に発売される。ロックが日本に輸入され60年余り、ロックというアイテムが芸能界とタッグを組み日本独自の解釈により花開いたロックン歌謡。2019年にリリースされた『バンヒロシ・プレゼンツ コロムビア ロックン歌謡大全』に引き続き、今作では50年代のロカビリーマナー歌謡やオリジナルを凌駕するカバー・ポップス、60年代のビート歌謡やGS歌謡、フィフス・ディメンションやバート・バカラックなどの影響を受けた70年代

ソフト・ロックン歌謡、さらには今もなお生み出されている2010年代リリースの現行ロックン歌謡まで幅広い時代の楽曲を網羅。アルバムの最後にはバンヒロシ自らがロックン歌謡の実践として、ヒロシ&EVE名義でリリースしたJBマナーなファンキー歌謡「TIN TIN」を収録。バンヒロシ執筆の充実したライナー・ノーツも楽しめる、ロックと歌謡界の歩みを辿るロックン歌謡ヒストリー決定版となっている。またリリースに寄せてバンヒロシとは旧知の仲である横山剣（クレイジーケンバンド）がコメントを寄せており、「イネったらイネ！」と本作に太鼓判を押している。

初CD化楽曲や現在ではなかなか聴くとのできない貴重な音源が多数収録されており、歌謡曲ファンのみならず日本のロックの歴史を紐解く上でもぜひチェックしてほしい。2021年10月には自身初のオールタイムベスト盤がリリースされ、11月には同ベストがアナログ・レコードとしてリリースされるなど本作と併せて年末にかけてのバンヒロシ関連のリリース・ラッシュが見逃せない。

本件のお問い合わせ先
日本コロムビア株式会社 コロムビアレコード・ビジネスユニット
田中 亮平
Mail : tanaka_ryohei@columbia.co.jp
TEL : 080-9099-4449

【コメント】

京都が誇るお座敷ロックンローラー、バンヒロシが選ぶ日本の洋楽！
ご意見無用の大らかな時代！イイネったらイイネ！

横山剣（クレイジーケンバンド）

心の中に愛を唇に歌を...そしてポケットにはロックン歌謡を。
それだけで乗り越えられる！

バンヒロシ大学学長 バンヒロシ

【商品情報】

タイトル：バンヒロシ・プレゼンツ コロムビア・ロックン歌謡大全 Vol.2

アーティスト：V.A.

品番：COCP-41658

価格：¥3,100（税込）

商品ページ：<https://columbia.jp/prod-info/COCP-41658/>

【収録曲】

1. ロック・アラウンド・クロック(ROCK AROUND THE CLOCK) / ダーク・ダックス 1955年
2. 俺はハイティーン / 神戸一郎 1958年
3. ボロ船ロック / 小野 透 1959年
4. 愛さずにいられない(I CAN'T STOP LOVIN' YOU) / トミー藤山 1963年
5. 現代っ子 / 鈴木やすし 1963年
6. チンチン電話(CHING CHING & A DING DING DING) / 後藤久美子 1963年
7. 涙のクラウン(EVERYBODY LOVES A CLOWN) / クール・キャッツ 1966年
8. 涙のゴーゴー / エミー・ジャクソン 1966年
9. BLUE EYES(青い瞳) / ジャッキー吉川とブルー・コメッツ 1966年
10. 野次馬がいく / 松方弘樹 1967年
11. フレンド東京 / 都はるみ 1968年
12. 恋のチューリップ / 港孝也 とパッション・グループ 1967年
13. おさげ / ジョージ山下とドライ・ボーンズ 1966年
14. 帰り道は遠かった / ザ・ジェノバ 1968年
15. 悲しみのかげに (FIND SOMEBODY) / スケルトンズ 1968年
16. 僕の恋人 / 舟木一夫 1969年
17. 関やんのヨサホイ節 / 関 敬六 1970年
18. じんじろげ / 森山加代子 1970年
19. いつか何処かで / 平山三紀 1972年
20. ハイソサエティ / 近田春夫 & ビブラトーンズ 1981年
21. アンジェリーナ / 風間杜夫 1984年

22. ヨコハマ・ホンキー・トンキー・ブルース / 清水節子 2016年
23. ムーンライト, スターライト / 大村波彦 1980年 ※初CD化
24. リバーサイド ホテル / 渥美二郎 2016年
25. TIN TIN / ヒロシ& EVE 2008年 ※初CD化

【Profile】

バンヒロシ

(お座敷ロックンローラー)

1958年生まれ。

1977年に京都のインディーズレーベルMIXレコードよりアップルドールズとして「あの娘に投げKISS」でレコード・デビュー。

1979年月刊宝島誌にてコラム「京都てなもんや通信」執筆。

1982年ダイヤモンドヘッツレコードより歌謡ロカビリーバンドスマッシュヒッツ「テルミー」で全国デビュー。

2000年自身のバンドBambino「すっ飛びひろし五十三次」がリリースされた。

2002年小西康陽氏主宰の524レコードより1985年発売された「バンちゃんとロック」を10インチで復刻。このアルバムに収録されていた「いかすぜこいつ！」がクラブヒットした。

現在は、Bambinoでのライブや授業式公開エンターテイメント「バンヒロシ大学」等カウンターカルチャープロデューサーとして精力的に活動している。2019年日本コロムビアから自身が監修を担当したコンピレーション・アルバム『バンヒロシ・プレゼンツ コロムビア・ロックン歌謡大全』をリリース。2021年10月にはSUPER FUJI DISCSから2枚組のベスト盤『Music is my life』が発売された。